

解答

- 一
問一 C
問二 ア
問三 使い捨てす 〓 てしまった
問四 地球に優し 〓 とする覚悟
問五 イ
問六 エ
問七 Ⅱ 技術の発展によりマナーの向上を目指す取り組み。
Ⅲ 乗客の道徳心を高めることによりマナーの向上を目指す取り組み。

二

- 問一 イ
問二 遠足にいくためのお金を、自分でためること。
問三 したのだ。
問四 ウ
問五 ア
問六 お金がたまっても家族のために使われて、減っていつてしまっから。
問七 ウ
問八 イ
問九 エ

三

- 問一 水（みず）
問二 エ
問三 ウ
問四 エ
問五 ア

四

私は、深海を調査することのほうがより重要だと思えます。なぜなら、海は地球の大半を占めているのに、不明なことが多く、深海の環境や生物などを研究することが、地球を詳しく知ることにつながると考えるからです。

五

- 1 所要 2 申告 3 全〔く〕 4 混雑 5 密着

六

- 1 ひむろ 2 じゅうじゅん 3 じょうそう 4 たいえき 5 やわ〔らげる〕

解説

一

問五 傍線部3を含む段落から、技術が手や足や体や頭脳の役割を肩代わりしてくれることによって、私たちが原初的に持っていた能力を失っていることがわかります。そのため、適当でないものとして、「公の場で自由にできることが少なくなってしまう」という記述を含む選択肢イが選べます。

問六 【I】の最後で筆者は、「人々の道徳心を涵養し、どのように判断すべきかを決めていける人間であり続けねば、社会は荒廃してしまうだろう。道徳を技術で置き換えることの危なさを考えておくべきではないだろうか。」と述べていることから、選択肢エが選べます。

問四 傍線部4の後に着目します。遠足のことでは、いつも家のなかがもめて、けつきよく一度も行ったことがないことや、登山だけなら、食い物のほかは、金がかからず、三百五十円くらいあればいいだろうと、お金の心配をしていることから、適当なものとして選択肢ウが選べます。

問八 傍線部7の前には、貯金箱をあけると箱はからで、遠足のために今まで貯めたお金が、牛の治療費に使われて、「ああ、やっぱり！ だめか！」と落胆しているシンサクの姿が描かれています。ずっと前から努力してきたのに、今回も遠足に行けなくなりそうな状況から、選択肢イが選べます。